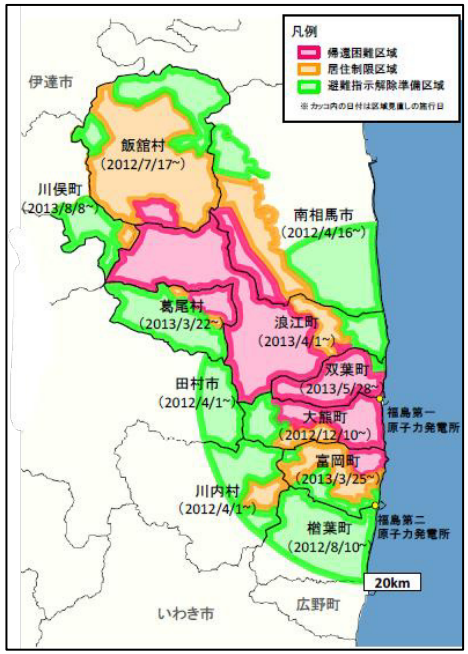
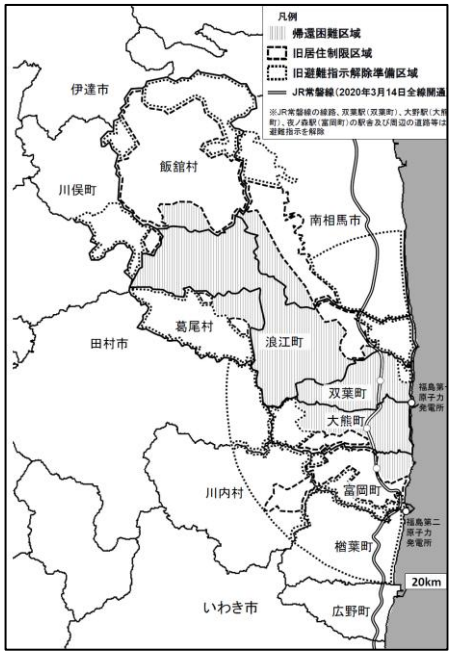
事故からの復興・再生

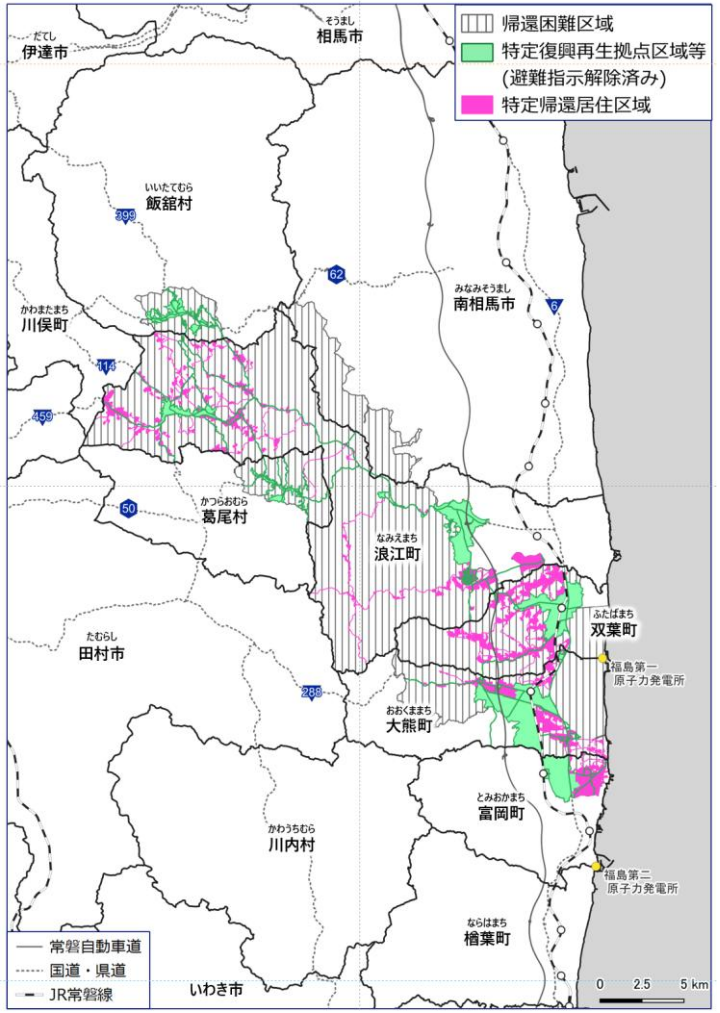
避難指示の解除について



2013年8月時点
（区域の見直しが完了した時点）



2020年3月時点
（帰還困難区域を除く全ての避難指示解除準備区域と居住制限区域の避難指示の解除）



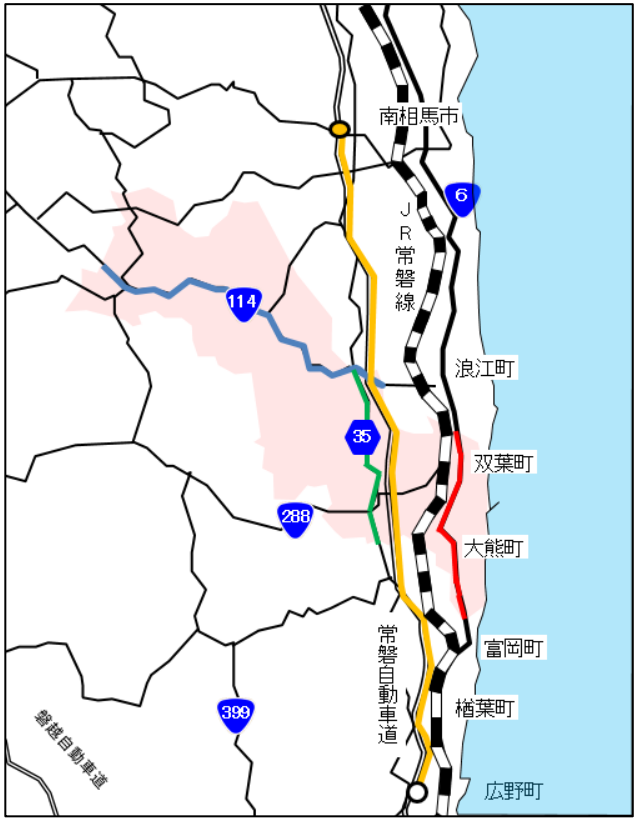
2026年2月時点
（※南相馬市、葛尾村の特定帰還居住区域は個人の特定につながるため、非公表）

出典：経済産業省「原子力被災者支援（避難指示関係）」https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/kinkyu.html、復興庁資料等より作成

※これまでの詳細な変遷については上記にて掲載。

事故からの復興・再生

帰還困難区域の主要幹線の交通について



- **常磐自動車道**：2015年３月に全線が開通しました。
  出典：https://www.e-nexco.co.jp/pressroom/press_release/head_office/h26/1225/
- **JR常磐線**：2020年３月に全線が運転再開しました。
  出典：https://www.jreast.co.jp/press/2019/20200117_ho01.pdf
- **国道・県道**：国道６号線は2014年９月～、国道114号線は2017年９月～、県道35号線は2019年９月～、通行証の所持・確認なく通過できることとなりました。

通過時の運転手の被ばく線量

線量調査期間		2018年11月～2019年１月	2017年8月	2019年11月～12月	
区間		常磐道 広野IC～南相馬IC	国道114号線 川俣町境～浪江IC	国道6号線 帰還困難区域内	県道35号線 帰還困難区域内
通過時の被ばく線量（単位：μSv）	自動車	0.28	1.01	0.39	0.51
	自動二輪車	0.34	－	0.49	0.63

参考）東京～ニューヨーク間フライト（往復）時の被ばく線量：約80～110μSv

出典：原子力被災者生活支援チーム
「国道114号、国道399号、国道459号、県道49号及び県道34号における帰還困難区域の線量調査 結果について（2017年９月15日 ）」
「国道６号・国道114号・県道34号・県道35号・県道36号・県道253号・県道256号における帰還困難区域の線量調査結果について（2020年１月30日）」
NEXCO東日本ホームページ（https://www.e-nexco.co.jp/jobando/senryo/genzai.html）より作成

事故からの復興・再生

特定復興再生拠点区域の整備

【特定復興再生拠点区域復興再生計画の認定状況・避難指示解除の目標時期】

市町村名	認定日	避難指示解除の目標
双葉町	2017年９月15日	2022年春頃 （2022年８月30日に解除）
大熊町	2017年11月10日	2022年春頃まで （2022年６月30日に解除）
浪江町	2017年12月22日	2023年3月 （2023年３月31日に解除）
富岡町	2018年３月９日	2023年春頃 （2023年４月1日及び 11月30日に解除）
飯舘村	2018年４月20日	2023年春頃 （2023年５月1日に解除）
葛尾村	2018年５月11日	2022年春頃まで （2022年６月12日に解除）

特定復興再生拠点区域の例（双葉町）

復興庁「特定復興再生拠点区域復興再生計画」
https://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat1/sub-cat1-4/saiseikyoten/20170913162153.html

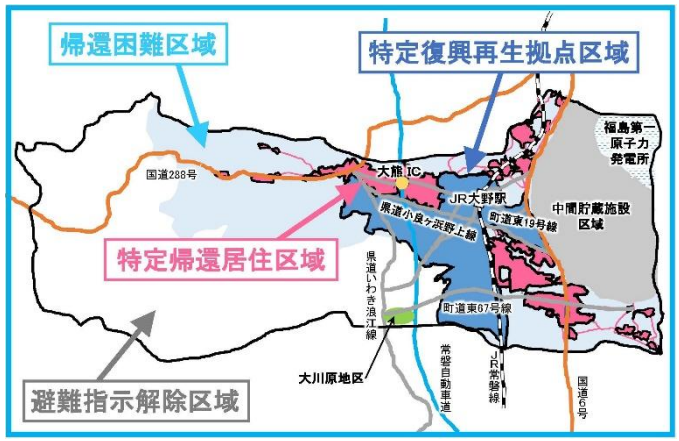
原子力災害対策本部「特定復興再生拠点区域の避難指示解除と帰還・居住に向けて（案）」（2018年）より作成

事故からの復興・再生

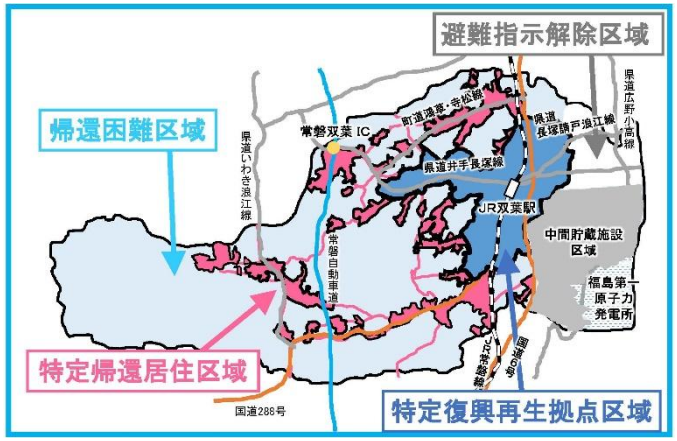
特定帰還居住区域の整備と放射線防護対策について

【各町村の特定帰還居住区域】

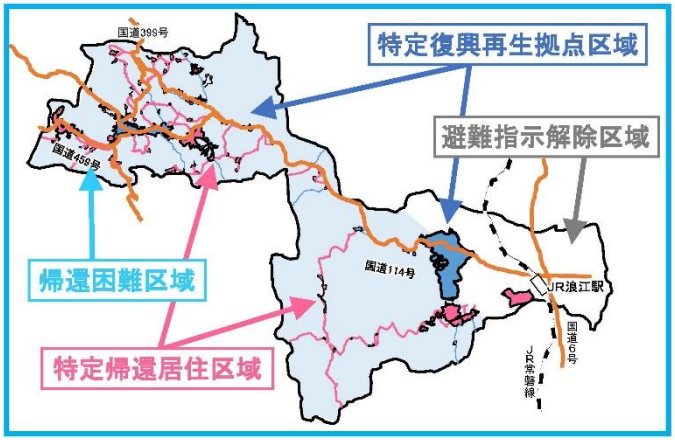
大熊町（令和５年９月29日認定、令和６年２月２日変更）



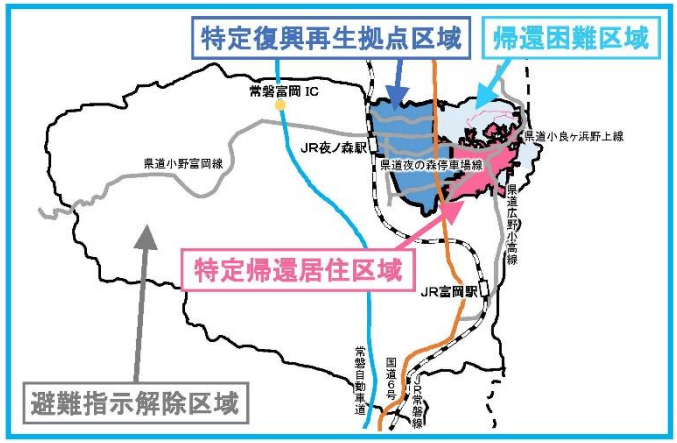
双葉町（令和５年９月29日認定、令和6年4月23日変更）



浪江町（令和６年１月16日認定）



富岡町（令和６年２月16日認定）



復興庁「特定帰還居住区域復興再生計画」、「復興の現状と取組」等より作成

事故からの復興・再生

特定復興再生拠点区域及び特定帰還居住区域における家屋等の解体について

○　内閣総理大臣が認定した特定復興再生拠点区域復興再生計画に基づき、　６町村（双葉町、大熊町、浪江町、富岡町、飯舘村及び葛尾村）全てで家屋等の解体・除染工事に着手し、2023年11月までに、特定復興再生拠点区域全域の避難指示が解除された。

○　特定復興再生拠点区域における除染は９割を超え、家屋等の解体は申請件数に比して約95%が完了（2025年11月末時点）。

○　2023年12月から、内閣総理大臣が認定した特定帰還居住区域復興再生計画に基づき、４町（大熊町、双葉町、浪江町及び富岡町）において順次、特定帰還居住区域の除染や家屋等の解体に着手しており、２市村（南相馬市及び葛尾村）において、着手に向け準備を進めている（2025年12月末時点）。

実施例

	除染前	除染作業	除染後
津島小学校（浪江町）			
大菅地区農地（富岡町）			

	解体前	解体作業	解体後
長泥コミュニティーセンター（飯舘村）			

環境省作成